

The Weekly Journal of Tokyo Rinkai Rotary Club



2020年1月29日【第1167回】



クラブ会長ターゲット
「友情を育み、地域社会に貢献する」
"Foster friendships,
Contribute to the community."
2019-2020年度
東京臨海ロータリークラブ会長
佐藤正樹



国際ロータリーテーマ
「ロータリーは世界をつなぐ」
"ROTARY CONNECTS
THE WORLD"
2019-2020年度
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー

創立：1994年8月8日
会長：佐藤正樹
副会長：高橋映治
幹事：杉浦孝浩
会報委員長：勝間田健一

1月29日の卓話	1月22日の出席率	2月5日の卓話
<p>「成長企業のビジョン実現に向けた 資金繰り改善戦略」 株式会社船井総合研究所 M&A支援部 財務・組織再編 チームリーダー 小松 靖教様</p>	<p>会員在籍者数 43名 会員出席者数 24名 会員欠席者数 19名 本日の出席率 58.54%</p>	<p>「現在のソフトウェアについて」 M&S株式会社 部長 鈴木 仁様</p>

《第1166回 例会報告 2020年1月22日》

司会：白井会員



■点鐘：佐藤正樹会長



■ロータリーソング斉唱「日も風も星も」

：ソングリーダー 坂本康朋会員

■「四つのテスト」斉唱（歌）

■「ロータリーの目的」

東京臨海 RCVer. 唱和：高橋副会長

■来賓・ゲストスピーカー紹介：佐藤正樹会長

本日はいらっしやいません。

■ビジター紹介：佐藤大輔会員

山上卓也様（佐久間裕章会員ゲスト）

中田清史様（東京東RC）



■会長報告：佐藤正樹会長

・本日の例会は、職業奉仕部門フォーラム開催のため卓話はなく、1時までとさせていただきます。

■幹事報告：杉浦幹事

・次週1月29日の例会は、例会場が3階「龍田の間」です。

・東分区インターシティ・ミーティング報告書を先週（1月15日）に会員皆様のメールボックスに配布しました。

・3月3日（火）は、東京臨海東RC創立24周年記念例会に当たりますので、臨海・臨海東・臨海西RCの3RC合同例会です。

出欠を2月19日までにお知らせくださるようお願いいたします。

3月4日（水）は、例会はありません。

・第2530地区（福島）からのご連絡です。

「復興フォーラム」を3月21日（土）～22日（日）の日程で開催いたします。1日目は、「被災地現状視察 スタディツアー」後、懇親会を行います。2日目は、福島市パルセ飯坂にて「復興フォーラム」を開催いたします。詳細は、ホワイトボードにチラシを貼りましたのでご覧ください。申し込みは、1月29日までにお願いします。

20年度国際ロータリー会長
ダニエル・マローニー

佐藤 正



■委員会報告

- ・職業奉仕委員会（佐藤大輔委員長）
本日例会後、休憩をはさんで1時5分より、この会場で職業奉仕部門フォーラムを開催致します。



■出席状況報告：舛本会員

⇒詳細1頁バナー下に掲載。

■ニコニコBOX報告：白幡委員

(ご意向)10年在籍し、初めてフォーラムの担当です。頑張ります。：佐藤大輔職業奉仕委員長

(ご意向)本日の職業奉仕フォーラム、佐藤大輔委員長、宜しくお願いたします。：佐藤正樹会長、高橋映治副会長、杉浦幹事、勝間田会員、中村会員、須藤会員、田村会員、入澤会員、井上会員、佐久間裕章会員、小松会員、柴田会員、白幡会員、白井会員、酒井会員、坂本康朋会員、大西会員、本多会員、今井会員

【20件 42,000円 今年度累計 1,271,000円】

■卓話 本日卓話はありません。1時5分より職業奉仕部門フォーラムを開催いたします。

■点鐘：佐藤正樹会長

職業奉仕フォーラム

今年度の職業奉仕フォーラムは、職業奉仕の実践として「CSR」をテーマといたしました。

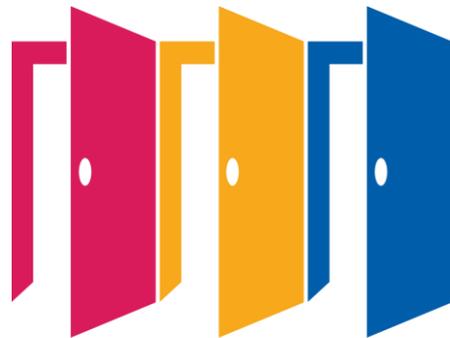
職業奉仕の概念を、どう自分の会社の活動へ落とし込んでいくのかを、企業のCSR活動を通じて学んでいくという企画です。

まず、佐藤大輔職業奉仕委員長より、ロータリーの職業奉仕の説明、CSRの説明を資料を基に説明し、それから会員全員にマイクをまわし、各社のCSRの取り組み事例を発表してもらいました。

取り組んでいること、取り組んでいないこと、CSRとは気づかずに進んでいたこと、CSRの中でも各企業ごとにやりやすいもの、やりづらいもの、特に力を入れていきたい分野等、様々な発表があり、それぞれが沢山の気づきやヒントを得られました。

最後に鈴木孝行クラブ奉仕委員長の講評にて、CSRの幅広い内容の中から、ロータリアンの職業奉仕として力を入れて取り組むべき部分や、職業奉仕、CSRの意義を分かり易く教えていただき、閉会となりました。参加された皆様、長時間にわたり大変お疲れ様でした。

次期RI会長が2020-21年度会長テーマを発表



ロータリーは機会の扉を開く

国際ロータリー会長エレクトであるホルガー・クナーク氏（ドイツ、ヘルツォークトゥム・ラウエンブルク・メルン・ロータリークラブ所属）が、1月20日、サンディエゴ（米国カリフォルニア州）で開催中の国際協議会で講演し、人生や地域社会を豊かにするためにロータリーが与える機会をとらえるよう呼びかけました。クナーク会長エレクトは、次期地区ガバナーに向けて2020-21年度会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」を発表。ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、「無限の機会への招待」であるとクナーク氏は述べました。

7月1日に会長に就任するクナーク氏は、奉仕プロジェクトを通じて会員自身や受益者の人生をより豊かにするための道を開くのがロータリーであると力説しました。「奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生み出すものであると、私たちは信じている」とクナーク氏。また、ロータリーはリーダーシップの機会、奉仕のアイデアを実行に移すために世界を旅する機会、そして生涯続く友情の絆を築く機会を与えてくれる、クナーク氏は述べます。「私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています」

(My Rotary 新着情報記事より)